

【初期体験実習】R4.7.5～7.7

在宅看護学講座では、「もみじ訪問看護ステーション」と「ものがたり訪問看護ステーション」に実習に行ってまいりました。

訪問看護師さんと車に乗って、
療養者さん宅へ出発です。
『上手にお話しできるかな』



毎朝、ステーションの中で
今日の目標を訪問看護師さんの前で
発表です。
『めっちゃ緊張！』



もみじ
訪問看護ステーション

ものがたり
訪問看護ステーション



環境も良く、素敵な建物
ワクワクする♥

『今日から3日間よろしくお願ひします！』

実習に行く前には「訪問看護ステーションって何するところ？」「病院の看護と何が違うのかな？」「新人看護師さんっているの？」などなど、沢山の疑問やわからないことについて事前学習をして、臨んだ3日間でした。

訪問看護師さんと同行訪問を行い、看護実践を見学しながら、また、実際に療養者さんやご家族とコミュニケーションをとりながら多くのことを学び一回り成長してきました。

ものがたり訪問看護では・・・



皆で学びのシェア



もみじ訪問看護では・・・



発表より一部抜粋

初期体験実習での学び

- ・常に利用者の小さな気持ち・顔の変化を意識し観察している。
- ・病気の話だけでなく日常的な会話を持ち掛けていた。
- ・根拠を基に、利用者の行動を促すような声掛けをしていた。
- ・利用者さんと信頼関係を築きやすい。
- ・地域の職種の方々と連携があり、情報共有をしている。
- ・家族の介護力が求められる。
- ・家にあるものを使い工夫して看護ケアを行っている。

